

授業科目 公衆栄養学実習Ⅱ（臨地実習）

【担当教員名】 村山伸子	対象学年	3	対象学科	栄養
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

【一般目標：G10】
「地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報を収集・分析し、それらを統合的に評価・判定する能力を養う（1）。また、保健・医療・福祉・介護システムの中で（2）、栄養上のハイリスク集団の特定（3）とともにあらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価（4）の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。さらに各種サービスの調整、人的資源など社会資源の活用（5）、栄養情報の管理、コミュニケーションの管理などの仕組み（6）について理解する。」

- 臨地実習では、特に以下の側面から上記の目的にあげられた事項を学習する。
 ① 学内で学んだ知識や技術を、実践の場で統合、確認し、いろいろな場面でのように展開されているかを学ぶこと。
 ② 現場でおこなっている課題に対して、概念化、理論化して問題解決する考え方を学ぶこと。
 ③ 地域の視点で栄養課題を考えること。
 ④ 社会人に必要な責任感、倫理観、判断力、指導力、協調性などを身につけること。

【行動目標：SBO】
 地域保健・栄養活動に大きな位置を占める保健所や市町村保健センター等において、住民の健康の保持増進のために実施されている各種の事業を通じて、以下のうちいくつかの事項について体験し、学習すること、地域の背景、特徴、行政内部の条件との関係を考察することを目標とする。
 1. 健康・栄養問題と関連要因の分析とアセスメント、地域栄養計画と評価
 2. 健康・栄養上のハイリスク集団の特定
 3. 保健・医療・福祉・介護システムの把握と連携・活用
 4. 栄養関連プログラムの作成・実施・評価
 5. 社会資源の支援、育成、連携、活用
 6. 栄養情報と食物の管理（食環境づくり）

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	保健所	市町村保健センター		
	事前オリエンテーション			
	①地域における実態把握、分析・国民栄養調査準備・県民栄養調査準備②地域栄養活動の企画、調整、参画	①地域の実態把握・分析、施策化、評価・住民ワークショップ、インタビュー・地域アセスメント・地域栄養計画立案、評価	1	学外での実習
	①健診データや各種データの整理、分析	①健診データや各種データの整理、分析	2	
	①連携の機能強化・医療、福祉関係等とのネットワークづくり・民間活力の導入	①医療、福祉関係機関等の連携・協力体制の整備	3	
	①専門的・広域的栄養指導・高度な専門技術・医療機関との連携・広域的、モデル的・糖尿病、難病など	①住民に対する健康教育、栄養相談・母子・学童・思春期・成人・高齢者②啓発普及・健康まつり	4	
	①組織の育成・指導②市町村の支援③人材育成（教育、研修）・管内栄養士・県食生活改善推進委員協議会支部・調理師・栄養関連企業・栄養士養成施設実習生	①地区組織育成・食生活改善推進委員の養成・市町村食生活改善推進連絡協議会②人材育成・活用委員・在宅栄養士・ホームヘルパー	5	
	①情報収集と提供②給食施設指導③栄養関連企業等への指導・栄養成分表示・特別用途食品	①栄養情報の収集と提供	6	
	事後 報告会、報告書			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書				
その他の資料	新潟医療福祉大学 健康栄養学科 臨地実習の手引き			

【評価方法】 評価基準に基づいた実習先指導者等からの評価、学生の自己評価、教員の評価、および事前事後の学習状況の評価による。	【履修上の留意点】 別に定める、健康栄養学科の臨地実習の基準を満たしていること。 事前に、実習先指導者、本学担当教員、学生の3者での協議のもとに、学生自身が学習目標を立てること、実施し、自己評価すること。
---	--